

西ボラ・かわら

発行 西区ボランティアセンター
〒733-8535 広島市西区福島町二丁目2番1号 広島市西区社会福祉協議会内
Tel (082) 294-0104 Fax (082) 291-7096
E-mail nishi@shakyohiroshima-city.or.jp
ホームページ <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

お知らせ

パソコン要約筆記

ボランティア入門講座

要約筆記は、聞こえの不自由な方とのコミュニケーション方法のひとつです。パソコン要約筆記は、その場の話の内容をパソコン入力で文字にして、スクリーンやモニターに映して伝えます。
聞こえない方の積極的な社会参加を支えるボランティア活動の「入り口」として、聴覚障害などについて学び、一緒に活動してみませんか。

日程 平成29年1月14日(土)～1月28日(土)
13:00～15:00 毎週土曜日(全3回)
会場 西区地域福祉センター 4階会議室
内容 1回目「中途失聴・難聴とは」他
2回目「入力の工夫」他
3回目「ノートテイクの方法」他

募集要件 広島市内在住もしくは勤務、ノートパソコン持参可能な方
定員 10名(定員になり次第締切)
参加費 無料
申込締切 12月21日(水)
主催 NPO 法人広島市要約筆記サークル おりづるパソコン部
協力 広島市西区社会福祉協議会



ボランティア交流会のお知らせ

登録ボランティアやボランティアに関わりのある方を対象に情報交換や親睦を目的に交流会を開催します。一緒に昼食を取りながら、顔の見える関係づくりのきっかけにしてみませんか。

詳しくは後日チラシを配布しますのでお楽しみに!!

日時 平成29年2月13日(月)
11:30～14:30

場所 西区地域福祉センター3階大会議室

ボランティア募集

予告 マーガレットコンサートのボランティア

開催日 12月11日(日)
会場 広島国際会議場フェニックスホール
活動内容 会場案内、車いす利用者の階段の介助
※詳細についてはわかり次第お知らせします。活動を希望される方、関心のある方は、本ページ右下の【問合せ・申込】までご連絡をお願いします。

財団助成のお知らせ

第33回市民活動支援【マツダ財団】

青少年の健全な育成のための、民間の非営利活動で、自然とのふれあい、ボランティア育成、地域連帯、エコ、国際交流・協力、科学体験・ものづくりでの活動

支援期間 2017年4月1日から1年

助成金額 1件当たり10～50万円

応募方法 所定の様式(マツダ財団ホームページより)を利用し、メールか郵送で。

募集締切 2017年1月13日(金)必着

問合せ・申込先

〒730-8670

安芸郡府中町新地3-1 マツダ株式会社内
公益財団法人マツダ財団事務局

Tel 082-285-4611

Fax 082-285-4612

E-mail: mzaidan.sj@mazda.co.jp

決定・通知 2017年3月中旬

ボランティアセンター今後の予定

☆第4回ボラ連・利用連合同会議
日時 12月12日(月)
13:30～15:30

場所 西区地域福祉センター4階

☆第5回ボラ連・利用連合同会議
日時 2月13日(月)
10:30～11:10

場所 西区地域福祉センター3階

☆西ボラ・かわらばん159号
2月発行予定

※掲載記事のご希望がありましたら、発行の1か月前までにご相談ください。

広島市総合福祉センター オープン!!

12月5日(月)広島駅南口に開館します。それに伴い、広島市社会福祉協議会・広島市ボランティア情報センターも移転オープンします。お近くに行かれた際は、ぜひお立ち寄りください。

所在地: 広島市南区松原町5-1
BIG FRONT ひろしま
5・6階の一部

問合せ先

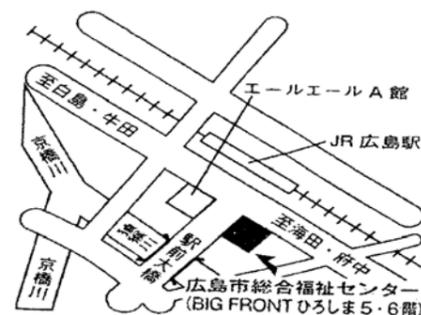
★12月4日まで

Tel 243-0051 Fax 243-0032

★12月5以降

Tel 264-6420 Fax 264-6437

地図



この広報紙のすべての問合せ・申込
西区社会福祉協議会(和田・原田)
Tel 294-0104 Fax 291-7096
E-mail: nishi@shakyohiroshima-city.or.jp

はじめまして

白い杖 SOS シグナルをひろめる会広島



私たちは、視覚障害者の交通事故や駅のホームからの転落事故などによる死亡事故を無くすことを目的として、「白い杖 SOS シグナル」(視覚障害者が困ったときのサイン)で援助してほしいと表現し、このポーズを見られた晴眼者に助けてほしいということを知ってもらおうよう努力していこうと集った仲間です。

2014年11月よりこのシグナルの啓発活動を、社会福祉協議会の協力を得ながら行なってきました。西区福祉まつりを皮切りに佐伯区健康福祉フェスタ、南区ボランティアフェスティバル、中区ボランティアまつりで自前のポスターやチラシを持って発表させていただきました。

その後、この活動を継続して行うことの必要性やポスターやチラシなどの経費面での限界を感じ、自分たちの個人的な活動ではなく、ボランティア団体として2016年7月11日に会を設立しました。設立後も県民文化センターやマダムジョイ楽々園店などで活動しています。

「白い杖 SOS シグナル」を広島から発信していき、全国の皆さんに知っていただくことで、私たち視覚障害者が安心して全国どこへでも出かけることができるようになりたいと思っています。

困ったときのこのポーズ(白杖を50cm上に揚げる)を見かけられたら、どうぞ皆様お気軽に声をかけてください。よろしくをお願いします。 代表 森井 豊

活動報告1



～「もみじ作業所まつり」に参加して～

この度は貴重な時間をいただき、ありがとうございました。このような施設でボランティアをするのは初めてだったので不安でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。地域の子も達と触れ合えるのは新鮮で、自分の持っているものを外でも活かせることができ嬉しかったです。利用者の方や職員の方が笑顔で活気に溢れていて、仲の良い様子を見てみると、温かい気持ちになりました。今後も是非、色々な活動に参加したいと思います。

河井 彩七

活動報告2

「ボランティア入門編」 ～受講者の声～

10月31日～11月21日 全4回開催

ただいま
受講中

- ◆ 転勤生活も終わり広島に帰ってきたら、カープの優勝で気持ちもよく、何かやりたいと思った。
- ◆ 仕事も辞め、子どもも独立したが、何も技術がない。何かしたいと思っているので、何かのヒントになることがあればと思い受講した。
- ◆ 地元を知る機会にもなればと思い受講。ボランティアは多少不純な動機で始めたいと思っている。半分はボランティア、その半分はスキルアップにと。
- ◆ サラリーマン生活を終えた後、自分の趣味をする生活をしていた。体調のこともあり趣味も辞めたので時間のゆとりもできた。

※ 11月7日(月)の座談会「受講のきっかけは？」より

お疲れさまでした!

第30回西区福祉まつり(10月8日(土))

参加: 48団体
来場者: 約500人

当日、天候の不安を抱きながら準備を進めていきました。雨が降れば、1階駐車場利用コーナーは何処へ、設置のテントでは雨は凌げるのか。建物内への移動は場所がない…。

抽選会は、2013年雨のため3階で開催した経験はあるがそれでも不安を感じる。1階で行うことを決めたが『雨よ降らないで』と願いながら進めていく。雨が降る前に終わらせたいとの皆の思いが通じたのか、参加者とボラの方達の協力を得ながら通常より数分早く終わることができました。

《まつり》の会場に多くの方々が来場してくださるようになったのは、『協賛企業様が景品の提供』をしていただいているおかげです。 西区福祉まつり実行委員長 伊藤和子

突撃取材!! 「よかよか倶楽部」



表彰
おめでとうございます

定例会の真ただ中の10月13日(木)14時に久保田編集委員と原田が伺いました。ちょうど、メンバーの皆さんが「フクロウの壁掛け」のパーツづくりの最中でした。

よかよか倶楽部は、平成16年開催の「外出支援ボランティア講座」を受講した方が、レクリエーションなどを通して外出のきっかけをつくってもらえる活動をしようと平成17年5月にサークルを立ち上げ、現在は9名のメンバーで、高齢者施設や地域のサロンなどに出向き、レクリエーションをしたり歌を歌ったりして交流しているとのこと。今年の福祉まつりでは、こけ玉・布ぞうり、フクロウの壁掛け、自家製ネギなどの販売で参加。例年よりは売り上げは少なかったそうですが一部社会福祉協議会へ寄付していただきました。

大切にしている活動のひとつが、中途障害者の集い「すみれ会」の誕生会での活動とのこと。ボランティアデビューだったこともあり、年4回の活動はとても楽しみにしておられます。

活動継続の秘訣について伺うと、「自分が楽しむことは相手も楽しむことにつながる」「無理をしないこと」とメンバーさんからすぐに飛び出した言葉が心に残りました。

最後に「メンバーの高齢化が課題。でも元気なうちは続けたいと思っている。ボランティアをしていると、声をかけてもらうことも多く、顔の見える関係づくりができることがボランティアの醍醐味です。」と話しておられました。

代表の今村さんを中心にお話を伺いましたが、福祉まつりが終わったばかりにもかかわらず、次の活動の準備にみなさん手を休めることなく、次々とお話をしていただき、スムーズに取材ができました。

よかよか倶楽部は、今年度広島県社会福祉協議会会長表彰を受けられることになりました。

おめでとうございます。これからも“出かけて交流する楽しさ”を地域に広めていただけるように願っています。

編集雑記

生活の小さな話

FDA(米国食品医薬品局)は9月に19種類の殺菌剤を含む抗菌せっけんやボディソープなどの販売禁止を決めた。日本の厚生労働省も同じ成分を含む「薬用せっけん」について来年9月末までに代替品に切り替えるよう製造販売会社に要請した。抗菌せっけんの主成分である「トリクロカルバン」「トリクロサン」に対する、耐性菌が生じる可能性が報告されているという。(日経新聞より)

我が家にある、殺菌・消毒泡ハンドソープの成分を調べたところ、主成分トリクロサンと表示されていた。

M.T